



▲ 8月3日 全国離島交流中学生野球大会 出陣式

令和8年8月17日(月)～20日(木) 島根県隠岐郡隠岐の島町で「国土交通大臣杯第17回全国離島交流中学生野球大会(離島甲子園)」が開催されました。全国の離島から9都県・22チームが参加し、上島町からは岩城中学校野球部とゆめしまベースボールクラブの選手16名で編成されたチーム「KANJIMA」が出場しました。

本大会は、元プロ野球選手で「マサカリ投法」により通算215勝された、故・村田兆治氏が、引退後に「離島球児たちにもっと大きな夢や目標をもたせたい」という思いから提唱し、実現した大会です。離島球児たちにとつての「もうひとつの甲子園」として、地理的環境から島外との交流機会が限られている全国各地の離島中学生が堂に会し、野球を通じて「島」と「島」の交流を深めています。

トーナメント戦では、三重県鳥羽市の「TOBA BLUE OCEANS」と対戦。序盤から相手にリードを許す苦しい展開となりましたが、得点のチャンスをつくるなど、最後まで諦めずに食らいつきました。しかし、あと1本が出ず、2対8で敗退となりました。翌日に行われた交流試合では、沖縄県竹富町の「竹富町選抜」と対戦しました。初回から積極的な攻撃をみせて3点を先制すると、その後も着実に得点を重ね主導権を握りました。守備でも相手の反撃を1点に抑えるなど、投打がかみ合った試合運びをみせ、9対1で勝利。前日の悔しさを力に変え、チーム丸となって離島甲子園での貴重な1勝をつかみ取りました。

大会に向けたチーム練習や試合、全国の離島の仲間たちとの交流を通じて、選手たちにとって多くの貴重な経験となりました。今夏の経験を、今後のさらなる成長につなげてもらいたいと思います。

次回大会は、三重県鳥羽市での開催が予定されています。今回の経験を活かし、来年の大会でさらなる健闘を期待しています。



第7回 史跡弓削島荘遺跡探訪・散策講座

塩づくりをしながら、塩についての知識を深めよう!

令和8年8月29日(土) 8:00～12:00 晴れ時々曇り
上島町弓削鎌田 鎌田塩田 参加者 25名

本焚き(塩焚き)



▲ 海水運び



▲ 鹹水採りの様子



▲ 塩づくり体験



▲ 塩水アートの制作

8月29日(土)、弓削鎌田地い時期には、最も効率よく塩田の鎌田塩田において、第7回での塩づくりを行うことができました。史跡弓削島荘遺跡探訪・散策講座が行われました。

本講座は、「塩づくりをしながら、塩についての知識を深めよう」と題し、揚浜式製塩を体験する場として復元整備されている弓削島の鎌田塩田において、平安時代後期から鎌倉・室町時代にかけて弓削島で行われていた塩づくりの工程を実践しながら、町教育委員会の学芸員がその技術と歴史について解説するものです。

今回は、史跡探訪・散策講座として3回目の塩づくり講座となりました。昨年に引き続き8月の開催となった講座当日は、日差しが降り注ぐ塩づくり日和となりました。夏の日差しの強い中、参加者は製塩用具を使用して、海水運び、砂の乾燥、鹹砂集め、鹹水採り、塩焚きなどの揚浜式製塩の工程を体験し、同時に、家庭でもできる塩づくり体験や塩水アートの制作、塩結晶の観察などの体験教室も開催しました。

上島町の島々は、古くからの塩づくりの歴史文化を有しています。本講座は、参加者の皆さんとともに、生命にとって極めて重要であり、本町の歴史文化を語るうえで欠かすことができない



▲ 砂の乾燥

「塩」について、多角的に学び考える機会となりました。今回の探訪・散策講座にもご期待ください。